

# 悠久の郷だより第1号

住宅型有料老人ホーム  
悠久の郷  
野々市市郷1-131  
Tel. 076-214-6688

TEMARI GROUP

まじり、あはれ、つなぐこと

## 懐かしいスタッフとの「面会」、女性が笑顔

### 悠久の郷とひなの家押野をスマホで結ぶ



懐かしいスタッフに笑顔の女性

=悠久の郷

悠久の郷に入居している90代の女性が5月1日、今年3月まで利用していた小規模多機能ホーム「ひなの家押野」（野々市市押野）のスタッフたちとスマートフォンで面会しました。スタッフの懐かしい声に女性は「元気が出ました」と大喜びでした。

女性は2018年秋から、ひなの家押野で宿泊サービスを利用。とても明るい人柄のため他の利用者やスタッフに親しまれていました。サービス終了後、今年3月に悠久の郷

郷に移りました。

この日、両施設からスマートフォンを使ってウェブ面会を実施。ひなの家押野のスタッフが「お久しぶりです。お元気ですか」と呼びかけると、ベッド上の女性はスマホに向かって「元気ですよ」と笑顔で答えました。

「ひなの家押野では、バラがとてもきれいに咲きほころんでいます」と話しかけると、「もうそんな時期になったんですね」と女性。ひなの家押野のスタッフが代わる代わる

女性に話しかけるスタッフたち

=ひなの家押野

声を掛けると、懐かしそうにうなづいていました。

（女性の写真は家族の承諾を得て掲載しました）

悠久の郷では、新型コロナウイルスの感染対策として、入居者の家族など、外部の関係者の面会をお断りしています。ご協力をお願いします。（裏面に関連記事）



## ごあいさつ



てまりグループ代表  
橋本 昌子

住宅型有料老人ホーム「悠久の郷」が立地する野々市市は、白山の豊かな恵みを受け、住みやすさが全国有数の街です。市内には縄文時代の大集落跡が残る国指定史跡「御経塚遺跡」があり、歴史ロマンが漂う街でもあります。

先人たちの夢と鼓動が脈々と息づく野々市市にあって、わたしたちは2013年より介護事業を行っており、これまで医師、看護師、介護士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士ら多職種のスタッフが連携し充実した介護サービスに取り組んできました。しかし、とりわけ大切にしてきたことは、医療や介護のスキルだけではなく、利用者の皆さまと家族や仲間との穏やかな時間を大切にし、一人一人の人格を尊重し、尊厳を守るということです。

「悠久の郷」では、これまでの経験を活かし、医療と介護をつなぎ、安心して暮らせるホームを目指していきます。人との出合いを大切にし、感動あふれるホームにしていきます。

わたしたちには大きな夢があります。高齢者がいつでも笑顔で生き生きと過ごせる社会づくりに貢献していきたいこと。わたしたちは夢に向かってさらに頑張っていきます。皆さま、どうぞよろしくご支援ご指導をお願い申し上げます。

# 体操・おやつタイムがスタート

## 離床と健康増進がねらい



手を伸ばし、体を動かす入居者

4月27日から毎日、「体操・おやつタイム」を設けました。運動不足になりがちな入居者の離床を促し、健康を増進するのが目的です。

時間は午後2時から約30分間。フロアに集まった入居者がいすに座って、テレビモニターに映る「ごぼう体操」を見ながら、体操に挑戦します。いすに座って手を上げたり、体を前にかがめたり、上半身を左右に動かしたり、一生懸命。ときにはスタッフの手を借りながら、体を大きく動かします。

この後、待ちに待ったおやつタイム。この日のおやつはチョコレートとビスケット。お茶は、コーヒー、番茶、昆布茶、ジュースからお好きなものが

選べます。

お茶を飲みながら、他の入居者と言葉を交わす機会が増えて、コミュニケーションが広がります。

ある男性入居者は「体を動かした後、ほっと一息できる時間が楽しい。毎日おやつタイムが待ち遠しい」と話していました。



おやつタイムに出る  
コーヒーとお菓子

.....

# 感染対策にネット面会

## 玄関に対策コーナーも

新型コロナウイルスの感染防止対策として、家族らが入居者と直接面会せずに玄関でタブレットを使って自室の入居者と話す「ネット面会」＝写真＝に切り替えました。



玄関の一角にウイルス対策コーナー＝写真＝も設けました。ボックスに、体温計、アルコール、消毒液、感染予防ハンドブック、ナイロンエプロンなどを置いて、外部の人に利用してもらいます。



.....

# 食器をすべて陶器に

プラスチック中心だった食器をすべて陶器製＝写真＝にしました。

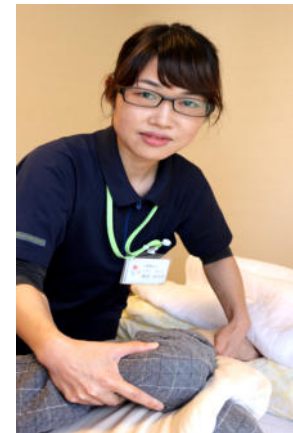
陶器にした食器は、お茶わん、大皿、小皿、小鉢など6種類。朝昼夕の食事に使用。



「陶器は温かい家庭を感じる」と入居者に好評です。

## スタッフ紹介①

### 作業療法士 <sup>たかだ</sup> 高田 <sup>こ</sup> ゆり子さん



信頼される作業療法士を目指す高田さん

入居者の希望をかなえない病气やケガ、加齢によって今までできていたことが難しくなった人に、必要な運動や作業を提供する。ときには塗り絵や折り紙を作ったり、手指を動かしたり、ゲームをして頭を使ってもらうこともある。「自分でご飯を食べたい、自分で

トイレに行きたい、生きがいをもって生活をしたい。入居者一人一人のそんな希望をかなえたい」と語る。高校を卒業し、専門学校で3年間学んで、作業療法士に。ひな家の訪問看護を通して5年ほど前から悠久の郷で働いている。「信頼される作業療法士になりたい。信頼を築かないと相手が何を望んでいるか理解できないから」。子ども2人が手を離れてきたので、幅広い知識を吸収し、とりわけ訪問看護についてもっと勉強したいと意欲を燃やす。



Photo: 高田さん

.....